

管理医療機器 12855000
(一般医療機器) 酸素投与キット
非加熱式ネブライザ 35457000

機械器具6 呼吸補助器

Hライン ネブライザーキット

再使用禁止

HSF0181

【警告】

使用方法

- ・使用中は常に各接続部が気密かつ確実であることを確認すること。[エアロゾルが発生しない可能性がある。]

【禁忌・禁止】

併用医療機器

- * 人工鼻と併用しないこと。[人工鼻のフィルタが加温加湿器との併用により閉塞し、換気が困難となるおそれがある。]「相互作用の項参照」

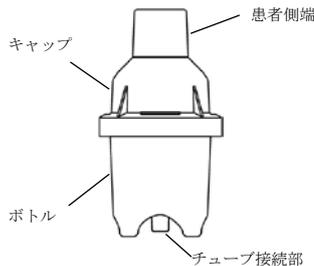
使用方法

- ・再使用禁止。[交差感染のおそれがある。]
- ・本品は火気のある場所で使用したり、油又はグリス等発火のおそれのある物を近付けて使用しないこと。[火災、爆発による火傷のおそれがある。]
- * 気管内チューブ、気管切開チューブ等をエルボー等の呼気が抜けない機器でネブライザーの患者側端に直接接続しないこと。[正常な換気が行えず、患者に損傷を与える。]
- ・本品を滅菌しないこと。[製品が変形したり、破損したりするおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

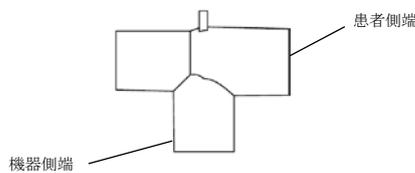
(1) ネブライザー



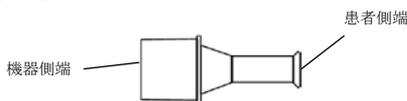
(2) 酸素チューブ



(3) Tコネクタ



(4) マウスピース



(5) リザーバーチューブ



2. 原理

ボトル内に供給された酸素ガスを水又は医薬品(薬液)に接触させることにより、エアロゾルを発生させ、患者に供給する。

【使用目的又は効果】

本品は、酸素ガスとともにエアロゾル化した水又は医薬品を供給する器具である。

【使用方法等】

1. ネブライザーのキャップを開け、ボトルに水又は薬液を入れる。
2. 水又は薬液が漏れないように注意し、ボトルにキャップを取り付ける。
3. ネブライザーの患者側端に、Tコネクタを介してマウスピースを取り付ける。Tコネクタには併せてリザーバーチューブを取り付ける。
4. 酸素チューブの一方をチューブ接続部に接続し、もう一方をガス供給源に接続する。
5. 酸素流量を調節する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・本品を流量計に接続するときは恒圧式を使用すること。
- ・本品は酸素加湿ビンに接続しないこと。[流量抵抗が大きくなり、十分なガス供給を確保できない。]
- * 全ての接続部(患者側端及びチューブ接続部)がしっかりと接続されていることを確認すること。[高圧酸素により接続部が外れてしまうおそれがある。]
- ・酸素流量を調節するときに噴霧していることを確認すること。
- ・必要に応じて噴霧し始めるまでネブライザーを軽く叩くこと。
- ・全体のガスフローを確認すること。
- ・本体を過度に傾けた状態で使用しないこと。[傾けすぎるとエアロゾルが発生しない可能性がある。]
- ・ベンチレーターを使用する場合は、Tコネクタを呼吸回路の吸気側に組み込むこと。
- ・ネブライザーの接続ポートがないベンチレーターを使用する際は、吸気的全流量と酸素濃度が変化するため、ベンチレーターとネブライザーのガス流量を考慮して吸気モードを設定すること。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・噴霧によって患者に供給される薬液の量は、患者の一回換気量により影響を受けることに留意すること。
- * <相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)>併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
人工鼻及び人工鼻用フィルタ	本品と併用しないこと。	フィルタが目詰まりし、流量抵抗の上昇、閉塞のおそれがある。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- ・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて室温で保存すること。

<有効期間>

- ・包装の使用期限欄を参照[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

株式会社インターメドジャパン
大阪市中央区道修町1-6-7 TEL:06-6222-1951

■外国製造所

シーナ (Hsiner Co., Ltd.) 台湾

—製造販売元—

 株式会社 インターメド ジャパン